

### 幼児保育環境の改善について



今塩屋 裕一

**質問** 今日、共働き世帯が増え、保育園のニーズが高まっております。保育園数が不足している状況である。その反面、幼稚園は園児の減少に伴い休園している幼稚園もある。そこで、改善策として、既存幼稚園を利用し、保育園と幼稚園両方の機能を併せ持つ施設「認定こども園」の導入の考えはないか。



新設保育園さとのもり保育園

**答弁** 次世代育成支援行動計画の中で、保育定数を千七百三十人から千八百五十人へ、百二十人増員

し、これにより、平成二十一年度新たに三保育園が開園する。公立幼稚園は、今回の統廃合に併せて、定員の見直しを行ったが、今後、認定こども園の導入など、社会情勢の変化にも配慮した子育て支援の必要性は認識している。次期次世代育成支援行動計画の中で検討したい。

### 小中一貫教育について

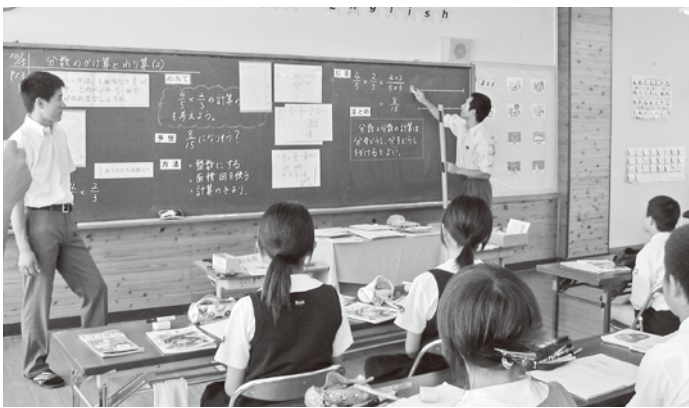


石野田 浩

**質問** 平成二十一年度から実施される全市的な小中一貫教育に関連して、急速な少子化の中では近い将来、子供の教育上その機能を充分に果たせない学校が出てくる。結果として、人間形成の一番大切な時期に子供達の教育環境を整えられないことになるのではないかと、そこでモデル校であった水引、里、祁答院地区で小中併設は考えられないか。

**答弁** 平成二十一年度から連携型の小中一貫教育を市全域で実施するため、まず、その充実に全力を挙げたい。連携型は、今までの小・中学校の枠組みを変えず、現在の

学校施設を利用するため、学校が離れていることによって児童・生徒・教師の移動時間がかかることが課題である。併設型は、隣り合ふ敷地に小・中学校を建設するものであり、移動に時間がかからず互いに交流しやすくなるなど高い効果が期待できる。連携型の小中一貫教育の推進状況を見極め、地域の意見・要望等も伺いながら、今後、検討したい。



中学校教諭による小学校での授業風景

### 甌島航路について



東 完治

**質問** 甌島が薩摩川内市の中で一体となつて発展していくために、川内航路を開設すべきだと考えるが、市は解決に向けての展望を見出せていない。大きな原因は市の方針と甌島住民との意識のずれであり、多くの住民は、串木野航路を残してほしいと願っている。甌島の航路問題を解決するために、串木野航路にフェリーを残すことを明言して、川内航路を実現する意志はないか。

**答弁** 市の方針については、コミユニティ協議会を中心に説明を行っていると思つている。議員の指摘のとおり反対の声が圧倒的に多いのに無理に移す必要は無いと考える。フェリーだけは未来永劫串木野航路に残すという明言については私一人が言える問題ではなく、議員の意見も十分聴かなければならないが、現段階ではその考えはない。